

土木って実はおもしろい!?

息抜きページ担当 デミー博士の「ラブ♡ラブ♡DOVOC」

~土木PRタレント デミー博士って何者?篇~



土木との出会いは高校の通学途中!?

私は大学で土木を学び、今でも土木の仕事をしています。そんな私が「土木を学びたい!」と思った運命的な出会いの話をします。私が大分県の高校に通学してたのは自己紹介でお話しましたが、通学途中に出会った「あるモノ」がきっかけで土木を学ぶことを決めました。それは「マンホール蓋」。実は私の住んでいる町にはマンホール蓋がなかったんです。つまり、下水道が整備されていなかったんです(蓋は下水道のメンテナンスするための出入り口)。私の町では、し尿は業者が回収に来ていましたが、台所の水やお風呂の水はそのまま川に流していたことを知りました。小さいときから排水溝が白く濁っているのに疑問をもっていった謎が、その時解けました。下水道を調べていくと土木に簡単に辿りつきました。道、橋、トンネル、ダム、水道、港、公園などは全て土木の仕事で造り、そして守られていること、また、災害の復旧・復興も土木の仕事がないとできないことを知りました。「大学で土木を学ぼう!」と思った瞬間でした。マンホール蓋は私の土木の入口と言えます。



爆破で噂のデミー博士
チャンネル登録者数 381人

チャンネルを編集 動画を管理



【ダイナマイトの威力#01】
ホーム 検索 + 登録チャンネル ライブ



土木の危機を知ったのは大学で就職関係の仕事をしている時でした。「将来なりたい職業ランキング」で土木の文字入っていないこと、「人手不足な職業ランキング」に土木に関連する仕事がたくさん入っていることを知りました。「私たちの命と暮らしはどうなってしまうのか?」という危機感に襲われたことを今でも覚えています。「小・中学校、普通高校では土木のことを教えてくれない」、「そもそも学校の先生も土木を知らない」とは経験的に分かっていたので、「自分で土木をPRして子供たちに知ってもらおう!」と答えは簡単に出ました。

イベントをするのが得意だった私はすぐ行動しました。ダイナマイトで碎石場の巨石を爆破したり、法面でコンクリートバスターを発射したり、マンホール蓋の色付けをしたり、など過去に例がない体験を中心にした土木イベントを開催しました。また、学童保育に出向き土木・防災の講義も積極的に行いました。活動が話題を呼び600件以上のメディア出演や(公社)土木学会から表彰されるなど全国的に注目され始めたのが2020年頃です。

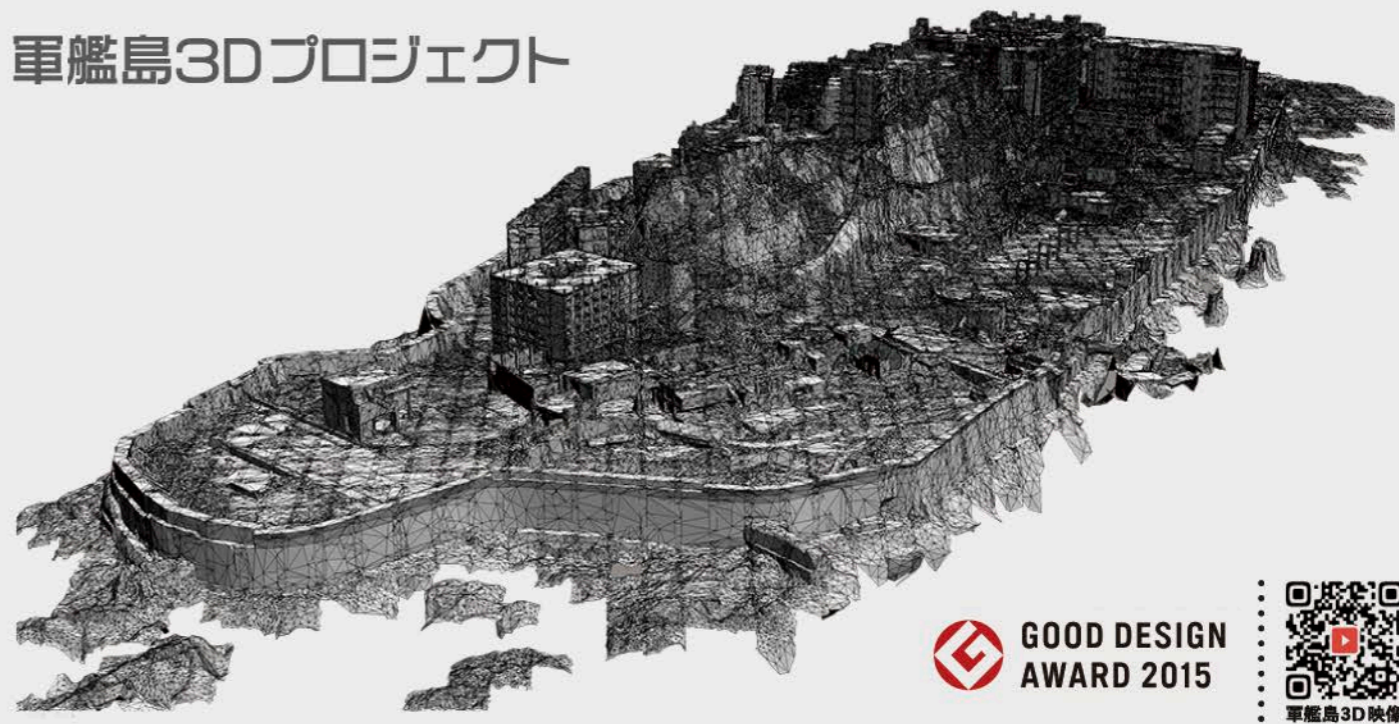
しかし、新型コロナウイルスの影響で対面での活動が難しくなったため、2021年5月に、新型コロナウイルスの影響で対面での活動が難しくなったため、2021年5月に、県内建設業に勤めている先輩にインタビューしていきますので楽しみに!



youtube チャンネル

Youtuber「デミー博士」の誕生

軍艦島3Dプロジェクト



デミー博士は軍艦島の守り人!?

大学ではドローンや3Dレーザースキャナを使った橋や建物の検査技術の研究開発を行っています。私の代表的な研究の一つに世界遺産・軍艦島の3D記録調査があります。ドローンの空撮画像からパソコンで特殊な解析をすることで軍艦島を3Dで再現することが出来ます。再現した3Dモデルから建物の形やひび割れなどを調べて軍艦島の老朽化の程度や進行具合を調べています。最近では水中ドローンをを用いて島の周りの海底調査を行っています。私はこの活動を「軍艦島3Dプロジェクト」と名付け、定期的に調査を行っています。活動は評価され2015年にはグッドデザイン賞を受賞しました。軍艦島の調査を精力的に行っていることから私のことを「軍艦島の守り人」と呼ぶ人もいます。3Dデータから軍艦島バーチャルツアー映像をYouTubeで公開しているののでQRコードを読み取って視聴ください。

デミー博士って何者?

はじめまして!土木PRタレントのデミー博士です。今月号から土木・建設業を応援するためにDOVOC通信で大暴れすることになりました。よろしくお願ひします。さて、今月号はデミー博士は何者?と思われる方のために簡単な自己紹介とライフワークの中で特に情熱を注いでいる「軍艦島3Dプロジェクト」と「土木PRプロジェクト」を紹介します。

私は1979年生まれで福岡県出身。大分県の高校に通い、その後、長崎大学で土木工学を学びました。卒業後、建設コンサルタント会社で働き、橋を守る(メンテナンス) 仕事をしました。会社を辞めて現在は長崎大学で働いています。専門は「土木工学」。工学博士・防災士です。

デミー博士の思い

私は土木は「優しさを形に変える仕事」だと思っています。当たり前のように安心して水道水が飲めるように、川から水が溢れないように、道で歩いている人が事故にあわないようになど、市民が安心・安全で暮らせるような街を造るのが土木の仕事。土木を英語で「Civil Engineering」(市民のための技術)と呼ばれるのも納得です。土木は「市民の命と暮らしを守る仕事」、そんな土木の事をもっと多くの人に知ってもらったため、また、応援してもらったため、デミー博士は、土木を全力でPRしていきます。私は2030年までに「将来子供がなりたい職業ランキング」に土木の仕事をして5位以内をすることを目標にしていますので、皆さん応援よろしくお願ひします。

